# 黒神高免地域
# 第2期コミュニティプラン
## 2024年～2029年

黒神小・黒神中・地域合同運動会(令和５年９月　於黒神小)

令和６年３月発行

黒神高免地域コミュニティ協議会

# 目　　次


１　地域の現状 ..... 2

２　組織　（令和５年４月１日現在） ..... 6

３　役員・代議員・構成団体　（令和５年４月１日現在） ..... 7

４　コミュニティ協議会の目標 ..... 9

５　運営方針 ..... 10

６　第１期コミュニティプランの概要 ..... 10

７　第１期間中の各部会活動の検証 ..... 11

⑴　地域活性化部会 ..... 11

⑵　スポーツ推進部会 ..... 12

⑶　地域教育振興部会 ..... 13

８　第２期コミュニティプランの策定 ..... 16

９　第２期間中の各部会活動計画 ..... 18

⑴　地域活性化部会 ..... 18

⑵　スポーツ推進部会 ..... 19

⑶　地域教育振興部会 ..... 20

## 1　地域の現状

### (1)　桜島および黒神高免地域の概要

桜島は大正３年(１９１４)の大噴火で流出した溶岩によって大隅半島と陸続きになった。昭和２１年の大噴火では、溶岩は黒神集落の半分を埋め尽くし、海に流れ込み、濱島が埋没した。

桜島港と鹿児島港を結ぶ２４時間運航の桜島フェリーは、薩摩半島と大隅半島を結ぶ主要交通路となっている。

黒神高免地域は、海岸線に広がる塩屋ヶ元、宇土、浦之前、園山、高免の５つの町内会からなる。人々は度重なる火山噴火に土地や財産を溶岩に埋め尽くされても、それを克服し、たくましく生き抜いてきた。

町内会をはじめ地域コミュニティ組織が青少年健全育成や高齢者への声かけ運動、まちづくりなどに、心をひとつにして取り組む人情味豊かな地域である。

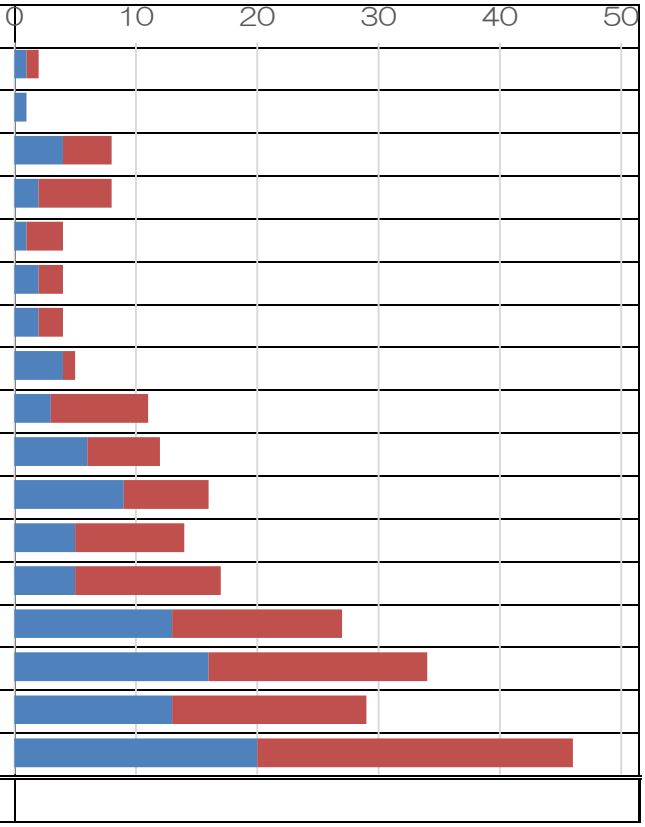
### (2)　黒神高免地域の人口構造(令和５年４月１日現在)

| 町内会 | 世帯数 | 総人口 | 65 歳以上 | 高齢化率 |
|---|---|---|---|---|
| 黒神町 | 78 | 107 | 62 | 57.9 |
| 高免町 | 86 | 135 | 74 | 54.8 |
| 合　計 | 164 | 242 | 136 | 56.2 |

| | | |
|---|---|---|
| 高齢化率 | 桜島圏域 | 50.9 |
| | 鹿児島市 | 28.5 |
| | 鹿児島県 | 33.5 |
| | 全　　国 | 29.0 |

※県・国は令和４年 10 月１日現在

| 年齢 | 黒神町 | 高免町 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 0～ 4 | 1 | 1 | 2 |
| 5～ 9 | 1 | 0 | 1 |
| 10～14 | 4 | 4 | 8 |
| 15～19 | 2 | 6 | 8 |
| 20～24 | 1 | 3 | 4 |
| 25～29 | 2 | 2 | 4 |
| 30～34 | 2 | 2 | 4 |
| 35～39 | 4 | 1 | 5 |
| 40～44 | 3 | 8 | 11 |
| 45～49 | 6 | 6 | 12 |
| 50～54 | 9 | 7 | 16 |
| 55～59 | 5 | 9 | 14 |
| 60～64 | 5 | 12 | 17 |
| 65～69 | 13 | 14 | 27 |
| 70～74 | 16 | 18 | 34 |
| 75～79 | 13 | 16 | 29 |
| 80 以上 | 20 | 26 | 46 |
| 合計 | 107 | 135 | 242 |




○　令和５年４月の「住民基本台帳人口」によれば、黒神高免地域の人口は２４２人である。高齢化率は５６.２％で、国・市の２倍に達している。

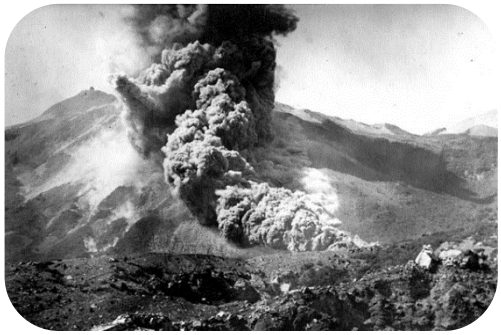
○　地域の人口は減少傾向にあり、生産年齢比率３９.２％、15 歳未満率は４.５％であり、少子高齢化が顕著で、高齢者の死亡や転出などにより、人口減少傾向が継続している。

⑶　児童・生徒数(令和５年４月６日現在)

| 小 学 校 | | 中 学 校 | | 合　　計 |
|---|---|---|---|---|
| 黒　　神 | １人 | 黒　　神 | ２人 | ３人 |
| 高　　免 | 休校 | | | |
| 桜島地域 | １２８人 | 桜島地域 | ５９人 | １８７人 |
| 鹿児島市 | ３２,２８５人 | 鹿児島市 | １６,２９６人 | ４８,５８１人 |

地域内の２小・１中の在籍児童生徒数はわずかに３人であり、地域支援をはじめ、隣接する小・中連携や小・小連携、中・中連携などにより、地域に根差した特色ある教育活動を維持している。新設される「桜島学校」での地域素材を活かした教育活動の研究や廃校後の学校施設の利活用が検討されている。(高免小学校は休校、黒神保育園は休園中)

⑷　活火山とともに生きる地域



絶え間なく噴火を繰り返す活火山・桜島。人々は、文明・安永・大正・昭和等の大噴火の災害を克服し、また自然の恵みを享受して生き抜いてきた。

安永噴火では、高免村の瓶岳と呼ばれる辺りから噴火が起こり、噴石や噴煙、溶岩により１４０人以上の死者を出した。住民は垂水や敷根、福山などに避難した。海中噴出により、八つの島が誕生した。高免地域のほぼ全体を安永溶岩が覆っている。大正噴火では、溶岩流は東桜島村の脇・有村・瀬戸の集落を覆いつくし、瀬戸海峡を埋めて、桜島は大隅半島と陸続きになった。黒神地区の「腹五社神社」の鳥居は、軽石や火山灰で埋め尽くされ、大噴火のすさまじさを伝えている。

昭和噴火では、溶岩は黒神集落の半分を埋め尽くし、海に流れ込み、濱島が埋没した。地獄河原と呼ばれる溶岩原が生まれた。

まさに、ふるさと黒神高免の歴史は、過酷な火山噴火の災害を克服し、澄んだ海や照りつける太陽など自然の豊かさを享受してきた歴史であった。

先人は、家や土地が溶岩の下となっても、新たに畑地を開墾し、痩せた土地に甘藷、裸麦、里芋を植え、食糧生産を再開し、近年では野菜づくりや肉用牛の育成にも力を入れてきており、ビワ、ツバキ等の生産が盛んである。

⑸　交通機関

黒神小学校から桜島フェリー乗り場までは車で約 25 分を要する。

桜島フェリーは 24 時間運航で桜島港と鹿児島港を約 15 分で結んでいる。

鹿児島県道 26 号桜島港黒神線は、鹿児島県鹿児島市を通る県道(主要地方道)である。

公共交通機関として市営バスが運行している。

浦之前港(高免町)と新島港(新島町)を約 10 分でむすぶ行政連絡船が、日、水、金曜日に１日３往復運航している。

高齢者など交通弱者の買い物や移動手段の確保が地域課題である。

⑹　防災活動

日頃から集団避難訓練などで「災害時に命を守る一人ひとりの防災対策」を通じて火山災害に備えている。毎年、大正３年の噴火の記念日である１月 12 日を中心に防災訓練を実施している。これは、桜島火山の噴火や地震の災害が起きたときに、お互いに細かな連携をとりながら、さまざまな処置がすばやく、適切に行えるようにするとともに、住民が常に災害時の心構えを持つように実施しているものである。異常現象が起こり、気象台の火山情報が発表されるなど、大噴火の発生が予想される段階から町内全世帯に設置されている戸別受信機や学校等各施設受信機及び屋外スピーカーから必要な情報伝達が行われている。

⑺　地域活動

地域ごとに行われる清掃美化活動やあいさつ・声かけ運動、交通安全運動や防火･防災活動、花いっぱい運動など主体的な活動が展開されている。

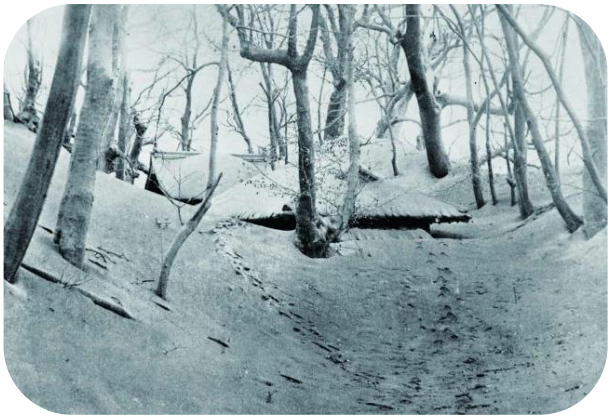
地域グラウンドゴルフ大会や小・中・校区合同運動会等のスポーツ活動は、住民の健康増進やふれあいの場となっている。

黒神校区女性学級が開設され、家庭教育学級と連携するなどして、生き生きと地域に根ざした学習活動が展開されている。

「校区敬老会」や「東桜島地域総合文化祭」では、校区女性学級などの社会教育団体の展示発表をはじめ、観覧者や参加者と一体となった舞台発表が行われるなど、芸術・文化活動が盛んである。

(8)　文化財等

| No. | 区　　分 | 名　　称 | 所 在 地 |
|---|---|---|---|
| 1 | 県指定名勝 | 桜島(大噴火を繰り返す複合火山) | 鹿児島市 |
| 2 | 県指定天然記念物(地質鉱物) | 噴火により埋没した鳥居、門柱 | 黒　神　町 |
| 3 | 自然の猛威から再生した森 | 腹五社神社と鎮守の森 | 黒　神　町 |
| 4 | 活火山の実感スポット | 昭和溶岩地帯 | 黒　神　町 |
| 5 | 錦江湾とつながる塩水の池 | 園山池 | 高　免　町 |
| 6 | 島の生成を物語る貝化石層 | 新島(安永噴火で隆起してできた島) | 新　島　町 |

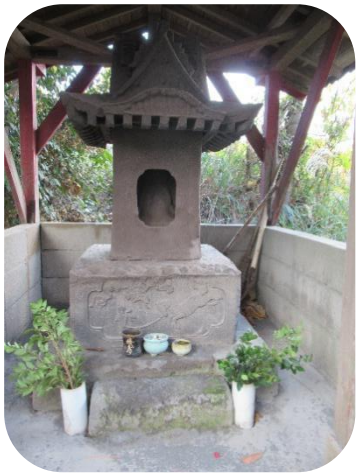


大正噴火で埋没した黒神原五社神社

埋没鳥居(鳥居高 3m の笠木部分)

腹五社神社のスダジイ(鎮守の森)

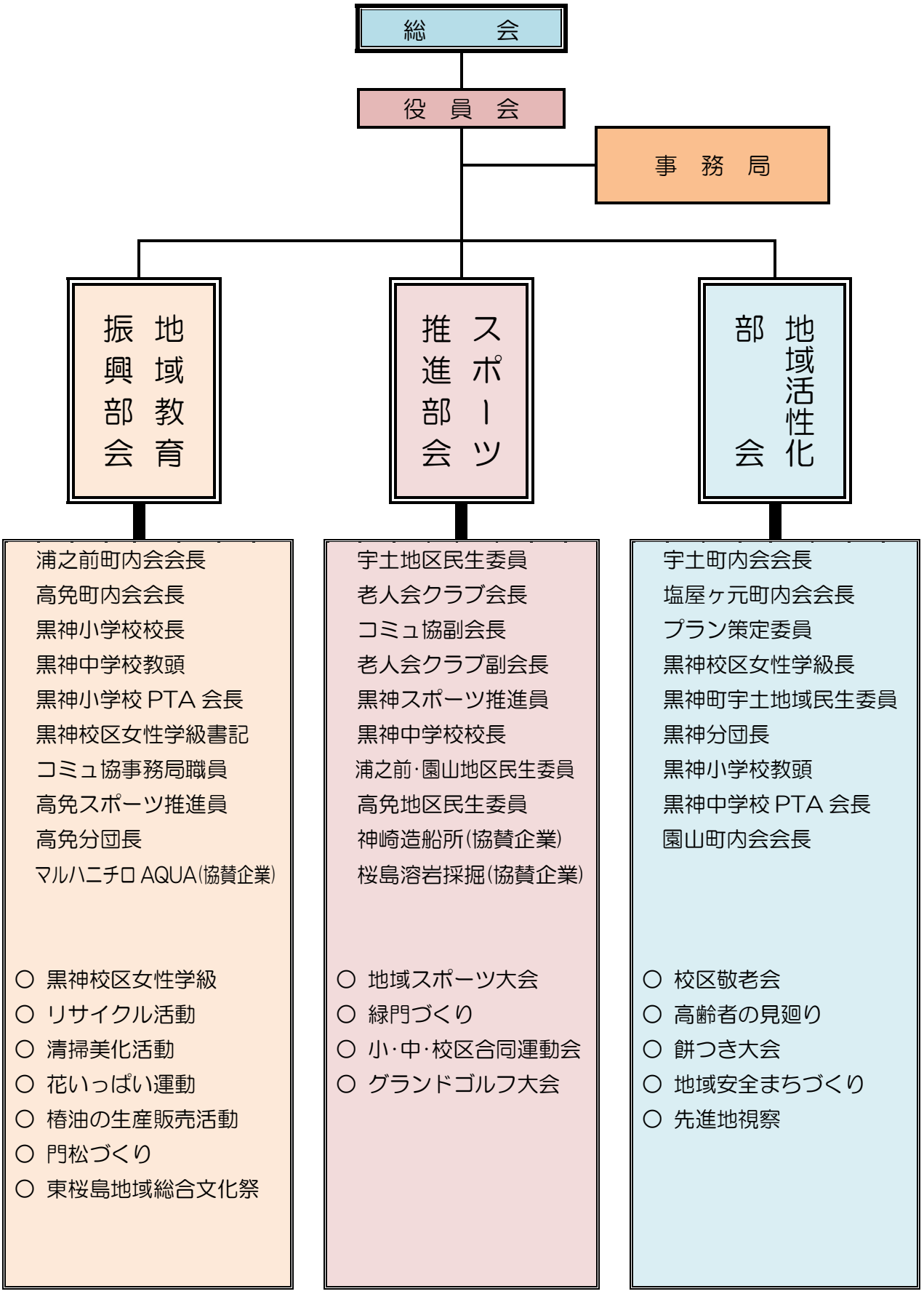
埋没門柱(門柱高 2.5m の頭部)



馬頭観音(塩屋ヶ元,猿厩守神)

園山池(錦江湾とつながる塩水池)

## ２　組織　（令和５年４月１日現在）



## ３　役員・代議員・構成団体　（令和５年４月１日現在）

### (1)　役員

| 役　職　名 | 氏　　名 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 会　　長 | 松　元　光　博 | 高免町内会長 |
| 副　会　長 | 信　吉　君　雄 | |
| 地域活性化部会長 | 新　村　繁　和 | 黒神町宇土町内会長 |
| スポーツ推進部会長 | 浜　島　福　光 | 黒神町宇土地区民生委員 |
| 地域教育振興部会長 | 扐　瀬　義　弘 | 浦之前町内会長 |
| 書　　記 | 川　添　信　子 | 黒神校区女性学級書記 |
| 会　　計 | 久冨木　みゆき | |
| 監　　事 | 松　元　千代子 | 黒神校区女性学級長 |
| 監　　事 | 山　口　　人 | 高免分団長、高免スポーツ推進員 |

### (2)　代議員

| No. | 団　体　名 | 役　職 | 氏　　名 | 主な活動 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 園山町内会 | 会　長 | 磯　田　正　義 | 町内会 | |
| 2 | 高免町内会 | 会　長 | 松　元　光　博 | 町内会 | |
| 3 | 塩屋ヶ元町内会 | 会　長 | 川　元　信　雄 | 町内会 | 塩屋ヶ元地区民生委員 |
| 4 | 浦之前町内会 | 会　長 | 扐　瀬　義　弘 | 町内会 | |
| 5 | 黒神町宇土町内会 | 会　長 | 新　村　繁　和 | 町内会 | |
| 6 | 黒神校区女性学級 | 学級長 | 松　元　千代子 | 社会学級 | 黒神地区主任児童委員 |
| 7 | 黒神高免老人クラブ | 会　長 | 川　添　昭　光 | 高齢者福祉 | |
| 8 | 黒神高免老人クラブ | 副会長 | 村　田　勇　男 | 高齢者福祉 | |
| 9 | 地域民生委員 | 代　表 | 浜　島　福　光 | 社会福祉 | 黒神町宇土地区民生委員 |
| 10 | 黒神分団 | 分団長 | 川　原　　正 | 防火・防災 | |
| 11 | 高免分団 | 分団長 | 山　口　　人 | 防火・防災 | |
| | 高免スポーツ推進員 | | | 社会体育 | |
| 12 | 黒神スポーツ推進員 | | 福　田　　大 | 社会体育 | |
| 13 | 黒神小学校 | 校　長 | 冨　永　章　文 | 学校教育 | |
| 14 | 黒神小学校 | 教　頭 | 浦　口　真　樹 | 学校教育 | |
| 15 | 黒神中学校 | 校　長 | 野　村　浩　二 | 学校教育 | |
| 16 | 黒神中学校 | 教　頭 | 上　戸　洋　平 | 学校教育 | |
| 17 | 黒神小学校ＰＴＡ | 会　長 | 浦　口　幸　子 | ＰＴＡ | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 18 | 黒神中学校ＰＴＡ | 会　長 | 田　中　理　沙 | ＰＴＡ | |
| 19 | 黒神町宇土町内会 | 監　事 | 栄　元　賀　朗 | 町内会 | プラン策定委員 |
| 20 | 黒神校区女性学級 | 書　記 | 川　添　信　子 | 社会学級 | |
| 21 | 浦之前・園山地区民生委員 | | 信　吉　りせ子 | 社会福祉 | |
| 22 | 高免地区民生委員 | | 長　濱　輝　子 | 社会福祉 | |
| 23 | ㈱マルハニチロ AQUA 桜島事業所 | | 藤　田　耕太郎 | 地域貢献 | |
| 24 | ㈱桜島溶岩採掘 | | 宗　　大　輔 | 地域貢献 | |
| 25 | ㈲神﨑造船所 | | 神　﨑　実　次 | 地域貢献 | |

(3)　構成団体(19 団体)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 園山町内会 | 11 | 黒神スポーツ推進員 |
| 2 | 高免町内会 | 12 | 高免スポーツ推進員 |
| 3 | 塩屋ヶ元町内会 | 13 | 黒神小学校 |
| 4 | 浦之前町内会 | 14 | 黒神中学校 |
| 5 | 黒神町宇土町内会 | 15 | 黒神小学校ＰＴＡ |
| 6 | 黒神校区女性学級 | 16 | 黒神中学校ＰＴＡ |
| 7 | 黒神・高免老人クラブ | 17 | ㈱マルハニチロ AQUA 桜島事業所 |
| 8 | 民生委員 | 18 | ㈱桜島溶岩採掘 |
| 9 | 黒神分団 | 19 | ㈲神﨑造船所 |
| 10 | 高免分団 | | |

運営委員会

かごしまこども環境大臣研究発表(黒神中)

桜島しまおこし隊(ヤマザクラ植樹)

ジオパーク案内看板(黒神中)

## ４　コミュニティ協議会の目標

### (1)　目標(スローガン)

**心ひとつに　共に助け合い　みんなでつくる**

**元気あふれる　黒神高免地域**

### (2)　設定理由

私たちの先人は、桜島の度重なる火山災害に土地や財産を奪われても、そのたびに困難を乗り越えてたくましく生き抜いてきた。

また、ミカンやビワ、桜島大根、ツバキ、肉用牛、ブリ・カンパチの養殖など地域の豊かな自然の恵みを享受しながら、豊かに生き抜いてきた。

私たちにとって、黒神高免地域はかけがえのない大切な「ふるさと」である。

しかし、近年、過疎化や少子高齢化、人口減少時代に直面しており、空き家・空き地対策に加え、交通弱者や独居高齢者の増加に伴う、医療難民や買物難民の支援や介助が求められるなど、私たちを取り巻く環境が変化しつつある。

また、常に警戒レベル ３ にある活火山「桜島」を抱える地域として、住民の防災意識の高揚や高齢者の介助・見守りなど、地域が一体となった安全対策の充実などの課題もある。

さらに、鹿児島市が新たに島内の小・中学校を統合して開校する「桜島学校」への期待が高まる半面、それに伴う廃校跡地活用問題など、地域としての新たな財産つくりにむけた取組も控えている。

そこで、この地域に住み続けている私たちは、新たな課題を克服しつつ、先人が築き守り続けてきた黒神高免地域をいつまでも守り続けていかなければならない責務がある。

地域コミュニティ協議会活動を中心に地域の活性化と振興を目指して、住民一人ひとりが、心をひとつにして共に助け合い、元気あふれる地域づくりを目指してこの目標を設定した。

## ５　運営方針

⑴　黒神高免地域の将来像を明確にした**地域コミュニティプラン（地域振興計画書）の実現に向けたまちづくり**に努める。

⑵　各部会が主体的に企画し、事業実施にあたっては一人一役及び全員参加を基本として、**みんなで創るまちづくり**に努める。

⑶　学校や行政との緊密な連携のもと、地域住民の主体的参加に根ざした**協働的なまちづくり**に努める。

⑷　地域住民一人ひとりがふるさとの未来に関心を持ち、**安心・安全に住み続けられるまちづくり**に努める。

⑸　地域住民一人ひとりが主役となり、心をひとつにして共に助け合い、**活気あふれるまちづくり**に努める。

⑹　協議会の構成団体間の連携や協働に根ざした地域住民間の**「絆や結い」の心が育まれるまちづくり**に努める。

## ６　第１期コミュニティプランの概要

⑴　事業の特色

ア　「校区夏祭り」や「小・中・校区合同運動会」、「餅つき大会」、「グラウンドゴルフ大会」などの開かれたイベントでは、地域住民をはじめ地元出身者、協賛事業所、関係機関など地域内外の多くの参加者が一堂に会し賑わいをみせている。

イ　「椿の実拾い」や「運動会の緑門づくり」など極小規模校での学校教育活動では、老人クラブや消防団などコミュニティ構成団体と学校職員が一体となって、学校と地域とが密接に連携した特色ある事業を推進している。

ウ　地域住民の人口減少と高齢化が進展する中で、「校区敬老会」や「高齢者の見廻り活動」など高齢者の健康増進や福祉にかかる取組を地域コミュニティ事業として実施している。

⑵　成果と課題

ア　「校区夏祭り」や「小・中・校区合同運動会」、「餅つき大会」、「グラウンドゴルフ大会」等の地域と一体となった事業には１００人を上回る規模のものもあり、平素とは異なる大人数に地域が沸き立ち、賑わい、参加者に好評である。反面、令和８年度に迫った小・中学校の統合に備え、学校を核とした事業内容の見直しや存続に向けた工夫が求められる。

イ　「椿の実拾い」や「運動会の緑門づくり」等の学校行事に、老人クラブをはじめ地域住民が参加することにより、特色ある教育活動が実践されている。今後は、「桜島学校」の教育課程における位置づけを想定し、新たな参加者の増加に伴う規模の拡大や参加協力体制の維持を検討する必要がある。

ウ　高齢者に対する「敬老会」や「祝賀訪問」等を通して、高齢者を守り支えあうまちづくりの機運が高まった。反面、近隣住民との関わりが希薄な高齢者が増えつつあり、個別の語りかけや見守りなど、きめ細やかに町内会との緊密な連携が求められる。

## ７　第１期間中の各部会活動の検証

### (1)　地域活性化部会

ア　地域の実態・願い

(ア)　急速な少子高齢化が進展し、65 歳以上の高齢者が 56.2%をしめる。

(イ)　住民の願いは「笑顔あふれるふれあいの町」「高齢者の健康見守り」である。

(ウ)　地域住民一人一人が主役となり、心をひとつに共に助け合い、活気あふれるまちにしたい。

(エ)　地域の将来像を明確にしたコミュニティプランの策定が必要である。

イ　事業実施評価表

| No. | 事　業　名 | 実施状況及び成果 | 評価 |
|---|---|---|---|
| 1 | 桜島爆発避難対策と訓練 | 毎年、各町内会から 80 人程度が参加した。 | B |
| 2 | 安心安全パトロール活動 | 青パトで週１回程度巡回し、点検活動を実施した。 | B |
| 3 | 交通安全、防火防災活動 | 学校と連携して黒神口までの看板を設置した。 | B |
| 4 | あいさつ運動 | 事業としての実績がなかった。 | C |
| 5 | 高齢者の見廻り活動 | 各地区の民生委員が声かけや見廻り等を行った。 | C |
| 6 | 生活支援、相談活動 | 事業としての実績がなかった。 | C |
| 7 | 地域敬老行事 | 高齢者を招待しお祝いした。(祝賀訪問を実施した) | B |
| 8 | 危険箇所点検活動 | 定期的な点検活動は行わなかった。 | C |
| 9 | 校区夏祭り | 高い評価を得ていたが、コロナ禍で中止した。 | C |
| 10 | 餅つき大会 | 年末行事として認知され、評価が高かった。 | A |
| 11 | 地域コミュニティだより | 概ね年３回発行できるよう努めた。 | C |
| 12 | 先進地視察と交流 | 他地域の状況についての研修や交流を図った。 | B |
| 13 | コミュニティビジネス研究 | 事業としての実績がなかった。 | C |
| 14 | コミュニティプラン研究 | 令和４年度から準備研究を始めた。 | B |

ウ　事業の実施状況

地域敬老行事(祝賀訪問)

餅つき大会

エ　第２期に向けての考え方(継続３、廃止 4、移管 7)

| No. | 事　業　名 | 第２期の取り扱い | 方針 |
|---|---|---|---|
| 1 | 桜島爆発避難対策と訓練 | 「桜島地域安心安全まちづくり大会」に移管する。 | 移管 |
| 2 | 安心安全パトロール活動 | 「地域安全まちづくり活動」に統合する。 | 移管 |
| 3 | 交通安全、防火防災活動 | 「地域安全まちづくり活動」に統合する。 | 移管 |
| 4 | あいさつ運動 | 「地域安全まちづくり活動」に統合する。 | 移管 |
| 5 | 高齢者の見廻り活動 | 町内会、民生委員と連携し、情報を共有する。 | 廃止 |
| 6 | 生活支援、相談活動 | 町内会、民生委員と連携し、情報を共有する。 | 廃止 |
| 7 | 地域敬老行事 | 敬老会(祝賀訪問)で高齢者を敬う機運を高める。 | 継続 |
| 8 | 危険箇所点検活動 | 「地域安全まちづくり活動」に統合する。 | 移管 |
| 9 | 校区夏祭り | 「桜島地域まつり」で代替する。 | 移管 |
| 10 | 餅つき大会 | 地域住民のふれあいや交流を深化する。 | 継続 |
| 11 | 地域コミュニティだより | 広報活動のため、事業化しない。 | 廃止 |
| 12 | 先進地視察と交流 | コミュ協連絡会主催「研修視察」で代替する。 | 移管 |
| 13 | コミュニティビジネス研究 | ＮＰＯ法人「コミュニティ桜島」事業で代替する。 | 廃止 |
| 14 | コミュニティプラン研究 | PDCA サイクルで事業効果を高める。 | 継続 |

## (2)　スポーツ推進部会

ア　地域の実態・願い

(ア)　住民の願いのひとつに「心が触れ合う住民が健康な町づくり」がある。

(イ)　地域住民の交流の場として、各種スポーツ大会を開催し、活気あふれる地域づくりを進めている。

(ウ)　個々の健康増進、福祉向上対応事業による生きがいづくり、健康で支えあう地域づくりを積極的に推進する。

イ　事業実施評価表

| No. | 事　業　名 | 実施状況及び成果 | 評価 |
|---|---|---|---|
| 1 | 小・中・地域合同運動会 | 地域をあげてのイベントとして定着してきた。 | A |
| 2 | 春季・秋季球技大会 | 球技大会に参加し、他校区との交流が深まった。 | B |
| 3 | グラウンドゴルフ大会 | 幅広い年齢層の参加者からの評価を得た。 | A |
| 4 | 地域スポーツ大会 | 取組を通して、地域住民の親和性を高めた。 | B |
| 5 | 各種スポーツ大会 | 事業としての実績がなかった。 | C |
| 6 | 緑門づくり | 合同運動会の付帯行事として、評価が高かった。 | A |

ウ　事業の実施状況

緑門づくり

グラウンドゴルフ大会

エ　第２期に向けての考え方(継続３、廃止２、移管１)

| No. | 事　業　名 | 第２期の取り扱い | 方針 |
|---|---|---|---|
| １ | 小・中・地域合同運動会 | 住民主体のふるさとづくりの機運を醸成する。 | 継続 |
| ２ | 春季・秋季球技大会 | 町内会対象のため、事業化しない。 | 廃止 |
| ３ | グラウンドゴルフ大会 | 住民の親和性の醸成や協働意識の喚起を図る。 | 継続 |
| ４ | 地域スポーツ大会 | 公民館と共催で参加者同士の連帯感の醸成を図る。 | 継続 |
| ５ | 各種スポーツ大会 | 事業としての実績がなかった。 | 廃止 |
| ６ | 緑門づくり | 「小・中・地域合同運動会」に統合する。 | 移管 |

(3)　地域教育振興部会

ア　地域の実態・願い

(ア)　ふるさとのよさに気付き、地域住民のふれあい・絆を深める行事や活動を展開する。

(イ)　ふるさと美化活動を推進し、心が触れ合う優しいまちづくりを推進する。

(ウ)　生きがい、地域づくりを目指す学習活動を推進する。

(エ)　ふるさとで生きる子どもの健やかな成長を見守り、地域ぐるみではぐくむ。

イ　事業実施評価表

| No. | 事　業　名 | 実施状況及び成果 | 評価 |
|---|---|---|---|
| １ | 「校区女性学級」の開設 | 地域行事と連係した学習活動を行った。 | B |
| ２ | 「家庭教育学級」の支援 | 椿の実拾いや桜島大根つくり等の活動支援を行った。 | B |
| ３ | 家庭教育の充実 | 市教委主催の研究会に６人程度参加した。 | B |
| ４ | 人権意識の醸成 | 人権問題研修会に、女性学級等で参加した。 | B |
| ５ | あいご会活動支援 | 女性学級と空き缶拾活動やクリスマス集会を行った。 | B |
| ６ | 東桜島地域総合文化祭 | 公民館と共催で舞台発表、作品展示等を行った。 | B |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 7 | 「おはら祭」への参加 | あいご会員として、東桜島踊り連で参加した。 | B |
| 8 | 声かけとふれあい活動 | 授業参観や桜島大根づくりでふれあい活動を行った。 | B |
| 9 | 「あいさつ看板」の設置 | 中学校と、標語看板の製作および設置を行った。 | C |
| 10 | 椿油生産販売活動支援 | 老人クラブで、草払い等の労力支援を行った。 | A |
| 11 | 清掃美化活動 | 公民館等と連携し各町内会で清掃作業を実施した。 | A |
| 12 | 花いっぱい運動 | 公民館周辺や桜広場を整備し、植栽を行った。 | B |
| 13 | 校区リサイクル活動 | 住民に協力を依頼し、地域行事として定着した。 | A |

ウ　事業の実施状況

黒神校区女性学級(研修視察)

空き缶拾い

門松づくり(竹切り出し)

門松づくり(黒神中)

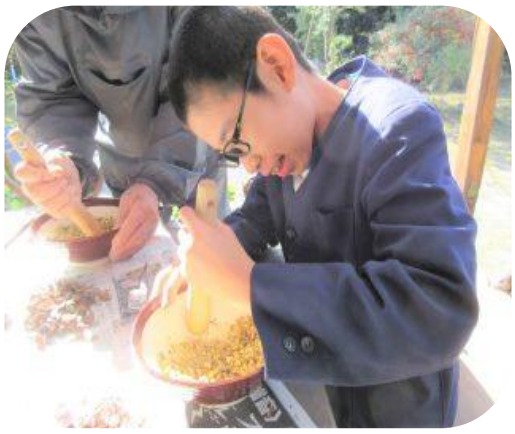
桜島大根の収穫(黒神小学校農園)

ツバキの実拾い(松元農園)

エ　第２期に向けての考え方(継続 2、廃止１、移管 10)

| No. | 事　業　名 | 第２期の取り扱い | 方針 |
|---|---|---|---|
| 1 | 「校区女性学級」の開設 | 地域の特性を踏まえた学習活動を展開する。 | 継続 |
| 2 | 「家庭教育学級」の支援 | 「校区女性学級」学習活動に統合する。 | 移管 |
| 3 | 家庭教育の充実 | 「校区女性学級」学習活動に統合する。 | 移管 |
| 4 | 人権意識の醸成 | 「校区女性学級」学習活動に統合する。 | 移管 |
| 5 | あいご会活動支援 | 「校区女性学級」学習活動に統合する。 | 移管 |
| 6 | 東桜島地域総合文化祭 | 地域公民館とコミュ協との実行委員会で実施する。 | 継続 |
| 7 | 「おはら祭」への参加 | 市主催事業のため、事業化しない。 | 廃止 |
| 8 | 声かけとふれあい活動 | 「コミュニティスクール」に移管する。 | 移管 |
| 9 | 「あいさつ看板」等の設置 | 「環境美化活動」に統合する。 | 移管 |
| 10 | 椿油生産販売活動支援 | 「コミュニティスクール」に移管する。 | 移管 |
| 11 | 清掃美化活動 | 「環境美化活動」に統合する。 | 移管 |
| 12 | 花いっぱい運動 | 「環境美化活動」に統合する。 | 移管 |
| 13 | 校区リサイクル活動 | 「環境美化活動」に統合する。 | 移管 |

椿の実乾燥作業(黒神中)



椿油採集作業(黒神小)

椿油瓶詰め作業(黒神小・中)

「黒神の椿油」販売(山形屋前)

## ８　第２期コミュニティプランの策定

### (1)　第２期プラン策定の趣旨

黒神高免地域コミュニティ協議会は、町内会等の地域コミュニティ組織等のほか地域内に所在する法人等、様々な団体が連携し、「心ひとつに　共に助け合い　みんなでつくる　元気あふれる　黒神高免地域」をスローガンとし、第１期地域コミュニティプランを策定して、元気あふれる地域活動の推進に取り組んできた。

本地域は、近年高齢化の急速な進展や住民ニーズの多様化など、地域内の環境の変化に加え、新たに令和８年４月に島内小中学校統合に伴う、廃校となる学校施設などの利活用問題を抱えている。

これを受けて、当協議会は、第１期満了年度にあたり、５年間にわたる第 1 期コミュニティプラン事業の成果と課題を検証し、地域における身近な課題の解決や地域資源を利活用した活動等をさらに充実したものにするために、第２期地域コミュニティプランを策定する。

### (2)　策定委員会の構成

プラン策定にかかる委員については、運営委員がこれを兼務することとする。

| 役　　職 | 氏　　名 | コミュ協での役職等 | 主　な　業　務 |
|---|---|---|---|
| 委　員　長 | 松　元　光　博 | 会　長 | 会務の総括 |
| 副 委 員 長 | 信　吉　君　雄 | 副会長 | 第２期プラン内容の精査検討 |
| 委　　員 | 扐　瀬　義　弘 | 地域教育振興部長 | 〃 |
| 〃 | 浜　島　福　光 | スポーツ推進部長 | 〃 |
| 〃 | 新　村　繁　和 | 地域活性化部長 | 〃 |
| 〃 | 川　添　信　子 | 書　記 | 〃 |
| 〃 | 山　口　　人 | 監　事 | 〃 |
| 〃 | 松　元　千代子 | 監　事 | 〃 |
| 〃 | 冨　永　章　文 | 学識経験者 | 黒神小学校教育活動との連携 |
| 〃 | 野　村　浩　二 | 学識経験者 | 黒神中学校教育活動との連携 |
| 〃 | 栄　元　賀　朗 | 前プラン策定委員 | プラン策定事務 |
| 会　　計 | 久冨木　みゆき | 会　計 | 会務推進に係る予算執行 |

### ⑶　策定委員会計画

ア　　令和５年４月１日から令和６年３月 31 日までを策定期間とする

イ　　策定にあたっては、各部会においてこれまでの実施状況から、成果・課題等を検証し、第２期プランを作成する。

ウ　　各部会でまとめた第２期プランを基に、策定委員会で協議し決定する。

### ⑷　策定における基本的な考え方

ア　　人口減少・高齢化の影響を受けつつ活動を継続してきたことから、原則として、現行事業の精査を行うとともに、事業内容の工夫・充実に注力する。

イ　　黒神高免地域の抱える課題解決に応えるコミュニティプランとする。

ウ　　コミュニティ協議会事業と町内会活動との連携をさらに深める。

エ　　令和８年度に開校する「桜島学校」との連携を視野に入れた取組を進める。

オ　　PDCA サイクルで事業展開し、年次ごとの工夫改善を図る。

### ⑸　重点目標

ア　　地域安心安全ネットワーク会議や地域安全パトロール・防火活動等を通して、**地域住民の命を守るまちづくり**を推進する。

イ　　敬老会などの地域敬老行事や各種事業を通じたふれあい活動を通して、**高齢者の生きがい・やりがい・思いやりのあふれるまちづくり**を推進する。

ウ　　小・中・地域合同運動会やグラウンドゴルフ大会等の交流活動を通して、**地域住民の健康増進と生涯スポーツ活動を深めるまちづくり**を推進する。

エ　　地域に根差した学習活動を通して、**地域住民相互のふれあいの中で喜びを感じるまちづくり**を推進する。

オ　　清掃美化活動や花いっぱい運動等での花や緑との関わりを通して、**自然と共生した持続可能で幸福感が深まるまちづくり**を推進する。

プラン策定委員会

ハザードマップ説明会(危機管理課)

## ９　第２期間中の各部会活動計画

### (1) 地域活性化部会

| | |
|---|---|
| 重点目標 | 地域住民の命を守るまちづくり |
| | 高齢者の生きがい・やりがい・思いやりのあふれるまちづくり |

ア　活動方針

(ア)　地域住民の絆を深め、活力に満ちた地域づくりを推進する。

(イ)　高齢者の見守り支援活動を通じ、地域福祉の充実を図る。

(ウ)　桜島の噴火や爆発に対応した実践的な防災訓練を実施する。

(エ)　広報活動の充実に努め、地域づくりへの積極的な参加を啓発する。

(オ)　地域の将来像を明確にしたコミュニティプランを策定する。

(カ)　地域の安心安全確保のために、桜島噴火や地震、津波、火災、風水害等の防災意識の高揚に努める。

(キ)　危険箇所点検や見守り活動を行うとともに、共助の精神の高揚に努める。

イ　事業計画(1,2 は評価事業)　　※○…実施、…検討、ー…未定

| No. | 事　業　名 | 事業内容・ねらい | 実施計画(令和) | | | | | 事業種別 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
| 1 | 地域敬老行事 | 高齢者の長寿をお祝いするための敬老会(祝賀訪問)を実施し、高齢者を敬う機運を醸成する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 継続 |
| 2 | 地域安全まちづくり活動 | 地域安心安全ネットワーク会議や青色防犯パトロール隊活動に加え、住民避難訓練やあいさつ運動、危険個所点検など、地域の安全確保のための自主的な活動を推進する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 新規 |
| 3 | 餅つき大会 | 校区社協のもち米提供を受けて、女性学級生や児童生徒をはじめ多くの地域住民のふれあいを深化する。 | ○ | ○ | | | | 継続 |
| 4 | コミュニティプラン研究 | PDCA サイクルで事業効果を高める。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 継続 |
| 5 | 桜島地域安心安全まちづくり大会 | 大会での講話や訓練を通じて、防災や防犯意識の啓発に努める。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 新規 |
| 6 | 桜島地域まつり | 事業を企画運営し、地域住民の賑わいを創設し地域振興に資する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 新規 |
| 7 | 研修視察 | コミュニティ活動先進地視察を通じて、地域の活性化を図る。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 新規 |
| 8 | ライドシェア事業 | 相乗り交通事業構築に向けた相乗りプラットフォーム Notteco 活用研究を深める。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 新規 |
| 9 | 廃校活用 | 地域資源を活用した地域が潤う施設つくりを研究する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 新規 |

## ⑵ スポーツ推進部会

| 重点目標 | 地域住民の健康増進と生涯スポーツ活動を深めるまちづくり |
|---|---|

ア　活動方針

（ア）　地域住民の交流の場として、各種スポーツ大会を開催し、活気あふれる地域づくりに努める。

（イ）　健康で支えあう優しい地域づくりを目指す。

（ウ）　個々の健康増進、福祉向上対応事業による生きがいづくりに努める。

イ　事業計画(1,2 は評価事業)

※〇…実施、…検討、ー…未定

| No. | 事　業　名 | 事業内容・ねらい | 実施計画(令和) | | | | | 事業種別 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
| 1 | 小･中･地域合同運動会 | 運動会や緑門づくりを通じ、小・中学生や住民同士の連帯感やふるさとづくりの機運を醸成する。 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 継続 |
| 2 | 地域グラウンドゴルフ大会 | 子どもから高齢者まで多くの住民参加の下に、相互の親和性や協働意識の高揚を図る。 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 継続 |
| 3 | 地域スポーツ大会 | スポーツ交流を通じて、参加者同士の達成感や連帯感の醸成を図る。 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 継続 |

小・中・地域合同運動会

小・中・地域合同運動会

ＡＥＤ講習会

地域グラウンドゴルフ大会

## (3)　地域教育振興部会

| 重点目標 | 地域住民相互のふれあいの中で喜びを感じるまちづくり |
|---|---|
| | 自然と共生した持続可能で幸福感が深まるまちづくり |

ア　活動方針

(ア)　ふるさと美化活動を推進し、心が触れ合うまちづくりに努める。

(イ)　生きがい、地域づくりを目指す学習活動を推進する。

(ウ)　ふるさとで生きる子どもの健やかな成長を見守り、地域ぐるみで育む。

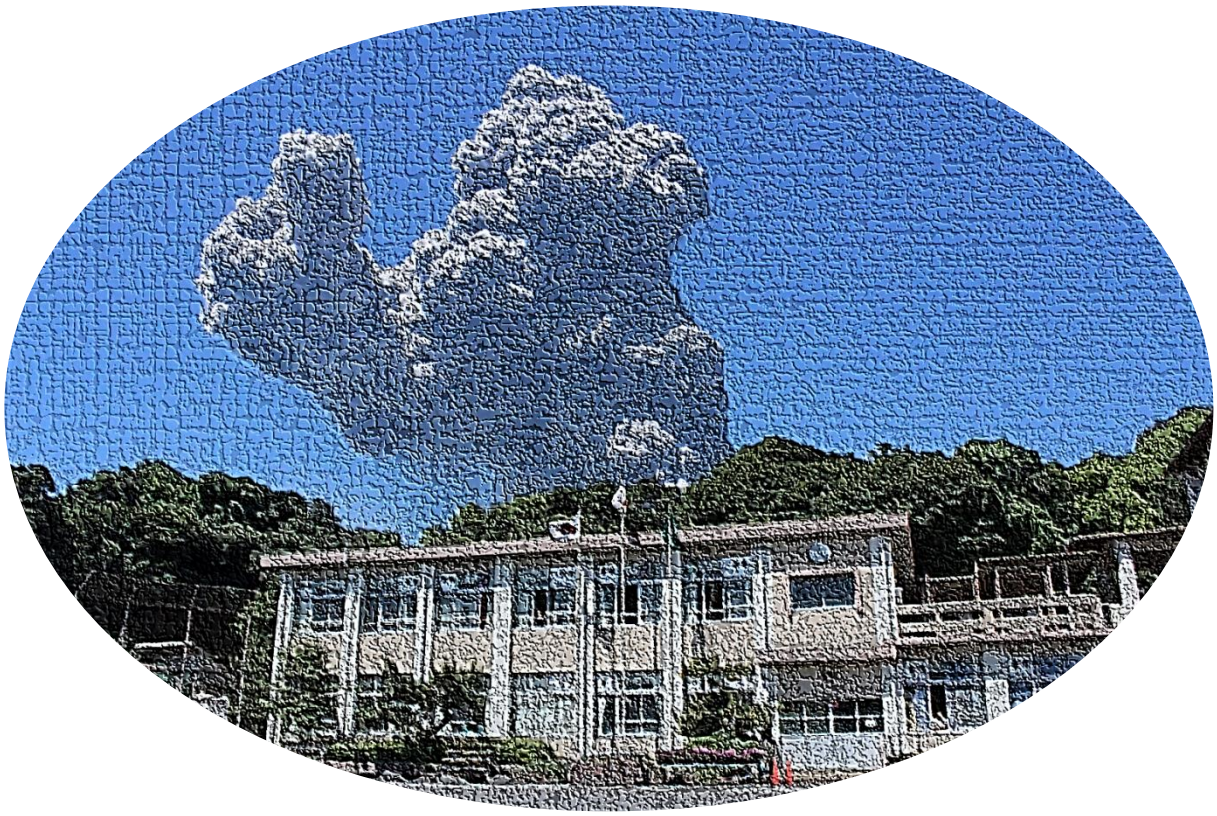
イ　事業計画(2,3 は評価事業)

※○…実施、…検討、ー…未定

| No. | 事　業　名 | 事業内容・ねらい | 実施計画(令和) | | | | | 事業種別 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
| 1 | 黒神校区女性学級 | 人権問題や消費者問題などにかかる基本的な学習を充実させると共に、黒神地域の特性を踏まえた学習を通じて、地域の活性化を図る。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 継続 |
| 2 | コミュニティスクール | 「地域とともにある学校づくり」を推進するために、声かけとふれあい活動や椿油生産販売、桜島大根、ビワ学習等を支援する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 新規 |
| 3 | 環境美化活動 | 清掃美化活動や花いっぱい運動、あいさつ看板、空き缶拾い、資源リサイクル活動、門松づくりなどの環境美化活動を持続することにより、地域文化財保護や美化意識の高揚を図る。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 新規 |
| 4 | 東桜島地域総合文化祭 | 作品制作や展示等で参加し文化交流を深めることにより、地域文化の振興に資する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 継続 |

桜島大根の収穫(老人クラブ、職員)

学校運営協議会(授業参観)




黒神高免地域コミュニティ協議会事務局


スローガン

**心ひとつに 共に助け合い みんなでつくる**

**元気あふれる 黒神高免地域**


| | |
|---|---|
| 開　所　日 | 月・水・金　９：00～12：00 |
| | 第１・３土　９：00～12：00 |
| 住　　所 | 891－1401　鹿児島市黒神町２５６１ |
| 電 話 番 号 | 099－293－4811 |
| Ｆａｘ　番　号 | 099－293－4811 |